

# どこでもMY病院

山梨大会

地域で支える  
新しい糖尿病対策を、  
私たちのやまなしから。

会期 平成24年9月9日(日) 午後1時~5時

会場 かいてらす(山梨県地場産業センター)  
〒400-0807 山梨県甲府市東光寺3-13-25

大会長 山梨大学医学部内科学講座第3教室教授 小林 哲郎

実行委員長 山梨大学環境内科学講座准教授 志村 浩己

運営事務局 〒409-3898山梨県中央市下河東1110 山梨大学医学部内科学第3教室内  
どこでもMY病院山梨大会運営事務局

☎ 055-273-1111(代) 内線6161 (平日9:00~16:00) Fax 055-273-9122 ① info@manseisien.jp

参加申込み方法 運営事務局まで事前申込み(定員200名、先着順受付)

締め切り 平成24年8月20日(月)

主催 NPO法人山梨糖尿病研究会

共催 NPO法人慢性疾患診療支援システム研究会

後援 山梨県・山梨県医師会・山梨県歯科医師会・山梨県薬剤師会・山梨県病院薬剤師会・山梨県看護協会・  
山梨県栄養士会・山梨県糖尿病療養指導士育成会・山梨県糖尿病対策推進会議・山梨大学・  
山梨県立中央病院・市立甲府病院・山梨日日新聞社・山梨放送・NHK甲府放送局・テレビ山梨

山梨地域糖尿病療養指導士(CDE-Yamanashi)認定更新の単位として1単位を取得できます。  
日本糖尿病療養指導士(CDE-J)認定更新のための2群1単位を取得できます(申請中)。

<http://y-dm.umin.jp>



## ごあいさつ

昨今、高齢社会の到来および医療の高度化に伴い、医師不足は顕著となり、特に地方においては医療の荒廃が進行する大変憂える状況になっております。また医療費を含む社会福祉に要する費用の高騰は国の財政を圧迫し、その解決は喫緊の課題となっております。一方、情報化社会の進展は目を見張るものがあり、この進歩を医療へ活用することの必要性が広く議論されております。国においてもこのような状況を鑑み、情報技術の健康分野への活用を念頭に、国民各人が自己の健康管理を行う“どこでもMY病院”の推進に邁進しており、本年は糖尿病をその主要な対象疾患として、発症の予防、進行の抑制を目的とした取り組みを進めているところであります。

今回私どもは、情報技術を活用し適正な費用で国民が健康を維持する体制を目指した“どこでもMY病院”を広く県民に周知するために“どこでもMY病院山梨大会”を開催することといたしました。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

### ■プログラム

- 基調講演 1. IT戦略における医療情報化の検討、及びどこでもMY病院の概要について  
内閣府参事官 有倉 陽司
- 基調講演 2. どこでもMY病院における糖尿病活用の意義とその利活用  
前慈恵医科大学教授、どこでもMY病院糖尿病部会長 田嶋 尚子
- 基調講演 3. 今後の医療におけるどこでもMY病院の在り方  
東京医科歯科大学教授 田中 博
- シンポジウム どこでもMY病院における糖尿病患者の管理

### 【参加費】

大会参加費 無 料 (大会後懇親会 3,000円)

